

2019 中国武漢国際長江水泳大会（出場者アンケート）

■今回、参加された理由

（どうやって大会を知ったのかも含めて教えてください）

【知ったきっかけ】大分合同新聞の長江国際水泳大会の参加者募集の記事を見た知人からの紹介。その後、実際に新聞の掲載記事とホームページでの募集案内を確認して興味を持ち、参加を決めました。

【参加理由】幼少の頃より大分市が武漢市と姉妹都市であることは知っていたものの、武漢市についての知識は全く無く、今回のような機会が無ければ今後武漢市に行くこともないのではないかと思ったこと、またこれまでの水泳経験が活かすことができ、単なる観光旅行とは違った経験ができると思い参加を決めました。

■大分～武漢への渡航について

（渡航に際し、困った点等がございましたら教えてください）

特に困った点はありません。

■測定会について

（測定会の様子を簡単に教えてください。当日のタイムを参考に教えてください）

【当日のタイム】4分50秒

大分を含む海外からの招待選手30名ほどで測定会が行われました。長水路（50m）でプールや更衣室は比較的きれいだと感じました。測定前には10分ほどウォーミングアップの時間も設けられていました。また、スタートは飛び込みでした。

他選手のタイムについて、速い選手だと4分7～8秒で泳いでいたようですので、レースで上位を狙うのであればある程度の実力を持った、現役の選手でなければ難しそうです。実際に中国の選手を含むほとんどが若い現役の選手であり、私がレース出場選手の中では最年長に近かった（28歳）と思います。また、個人的な感覚としては、4分30秒前後で泳げる泳力がないと長江を泳ぎ切るのは難しいと感じました。

■大会について

（大会の様子を簡単に教えてください。次回、参加者への注意点など）

レースとは別に一般参加の部もあり（レースよりも簡単なコース）、想像していた以上に参加者が多く、大規模なお祭りのような雰囲気でした。地元のテレビ局の取材も多くありました。レース参加者は待機所等がしっかりと管理されており、特にストレスもなくレースに臨むことができました（但しウォーミングアップはありません）。

長江は水中だと視界が10cm程度しかなく、流れも速いので（1.8m/s程度）、頻繁にヘッドアップをして進行方向や自分のいる場所を確認する必要がありました（流木等にも注意が必要です）。また、流れに逆らいながら泳ぐので、体力的にも日常的に練習を行っていなければ完泳は難しいと思います。ただ、救助艇は多くありますので、危険を感じることはありませんでした。

■大分市武漢事務所によるサポートについて

空港での送迎も含め、全ての行程で通訳の方に同行していただき、問題なくレースや観光を行うことができました。また、通常の個人での観光では体験できないような中国体験やクルーズ船での観光などを武漢市に企画して頂き、良い思い出となりました。

■全体的な感想

(武漢市の印象や大会参加の感想など何でも構いません)

武漢市の印象としては、人口やビル等の建造物の面で想像していた以上に大きな都市だと感じました。また宿泊場所のホテル、食事ともにストレスなく過ごすことができました。

すべての行程は他の招待選手と一緒に行動するため、ある程度の英会話ができただけでも他国の選手ともコミュニケーションがとれ、より楽しめると思います。また、他国の選手はチームで来たため、チームで参加したほうが体験(情報)の共有もできて、楽しいかもしれません(個人的には一人でも全く構いません)。

今回渡航費等も武漢市の大会主催者に負担して頂き、貴重な経験をさせていただき、大変感謝しています。これまでの行った旅行の中でも一番思い出に残るものとなりました。完泳できなかったことは大きな後悔として残っていますので、都合が合えばぜひ来年も参加させていただきたいです。

